

ムスカリ

花レシビ

管理と楽しみ方

29

< ムスカリの特徴 >

- ユリ科の球根草花で、3～4月頃が開花時期。
- 別名「グレープヒヤシンス」とあるように、青紫の小さな花をブドウのように咲かせます。香りが良いのも特徴。
- コンパクトな花なので、群植や寄せ植えに向きます。華やかな印象のランタンキュラスやチューリップとの相性が良いでしょう。
- 栄養状態が良ければ球根を付け、植えっぱなしでも2～3年は楽しめます。

< 楽しみ方のポイント >

- 植付け…球根を本格的に寒くなる11月頃、水はけの良い、日当たりの良い場所に植えます。早く植えすぎると、茎葉が繁ってバランスが悪くなります。小さな球根なので、3～4個まとめて植えると良いでしょう。
- 水やり…表面の土が乾いたら十分に与えます。球根を太らせるため、花が終わっても、葉が枯れる初夏まではやり続けましょう。晩秋になったら再び与え始めて、次年度に備えます。
- 株の管理…球根を太らせるためにも、花が終わったら早く摘み取りましょう。
- 球根…植えて3年程度経過したら、球根を掘りあげましょう。6月頃、葉が枯れてから掘りあげ、根や茎を切り取って陰干しして保管しておきます。

< 得する豆知識 >

- 花言葉は「寛大な愛」「明るい未来」

